

第十八卷 第三号 (昭和三十九年十二月)

論 文

「資本としての貨幣」について…………… 広 田 純

—— 宇野・鈴木両氏の利子論の検討 ——

初期アングロ・サクソン国家における

王領…………… 田 中 正 義

—— 前封建国家の歴史的性格 その一 ——

個別資本の規定について…………… 三 戸 公

—— 経営学の対象 ——

複式簿記の形成論理の検討…………… 茂 木 虎 雄

イギリス工鉱業における作業場および土地の

賃貸借制度の展開とその意義 (三) …… 大 河 内 暁 男

研 究

「価値の誘導 (Die Ableitung des

Werts)」について…………… 大 木 啓 次

—— 『経済学批判』から『資本論』

現行版へいたる改訂の検討を通して ——

一国資本主義分析の

基本的意味について…………… 水 谷 謙 治

—— 『ロシアにおける資本主義の発達』と

『帝国主義論』との検討 ——

昭和 40 年 2 月 1 日 発行

兼 集 編 田 中 正 義  
行 集 者  
発 行 所  
発 行 所

立教経済学研究

立教大学経済学研究会

第十八卷 第四号

東京都豊島区池袋 3 丁目  
立教大学経済学部研究室内  
電話東京 (983)0111(代表)  
振替口座 東京 23640

¥140 (〒60)

印刷 大日本印刷株式会社